

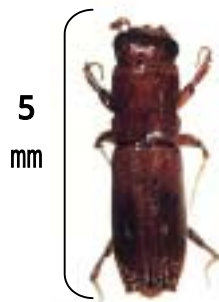


緊急
事態

ナラ枯れ害虫に 注意してください! 「第2のマツクイの恐れあり」



ナラ枯れで赤く染まった森



カシノナガキクイムシ



被害材（黒い線が孔道）

● なにが問題？

今年、本州の日本海側を中心に「カシノナガキクイムシ」によって大量のナラ枯れ被害がでています。この虫はナラ（コナラ、ミズナラ）の樹幹の中で大繁殖を行い、その際に「ナラ菌」という病原菌を大量に感染させます。その結果、樹木を枯死させてしまう恐ろしい病気で、第2のマツクイムシになる可能性があります。（ナラの他にシイ、カシでも繁殖を行います）

ナラ枯れ被害は、被害地（ ）からのシイタケ原木の購入・輸送により広がる可能性があります。被害地から原木を購入する場合は十分な注意が必要です。

日本海側の各県や、福島・長野・岐阜・宮崎・鹿児島などで被害が確認されています。

● 被害の症状は？

カシノナガキクイムシによる被害は、次のような症状の木で可能性があります。

- （１）立ち木の場合
 - ・ 根元におが屑のような木屑が積もっている
 - ・ 夏に急に葉が赤くなって枯れる
- （２）シイタケ原木の場合
 - ・ 木口に写真のような黒い孔や孔道が見られる
 - ・ 木の表面から木屑が出ている

裏面には、
詳しい
「ナラ枯れ」
の説明が
あります。



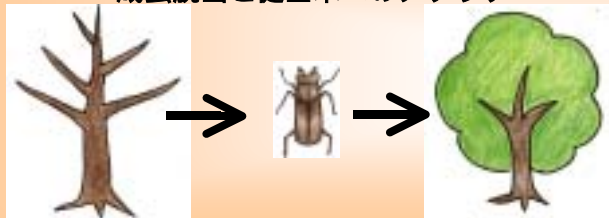
カシノナガキクイムシが引き起こす

ナラ枯れのしくみ



6～7月

成虫脱出と健全木へのアタック



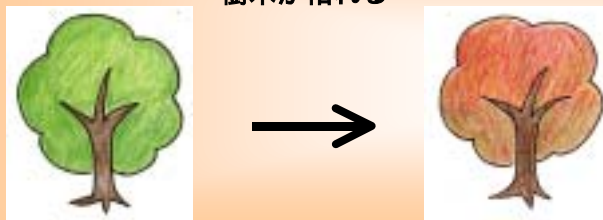
カシノナガキクイムシ成虫は、6～7月に発生し、健全なナラ類の幹に入りこみます。この時カシノナガキクイムシの体に付着した病原菌（ナラ菌）を幹の内に持ち込みます。

病原菌の増殖



8月

樹木が枯れる



病原菌が幹の内で広がると、樹木が水切れ症状を起こし、まもなく葉が変色して枯れてしまいます。枯れる時期は7月～8月頃までが多いようです。

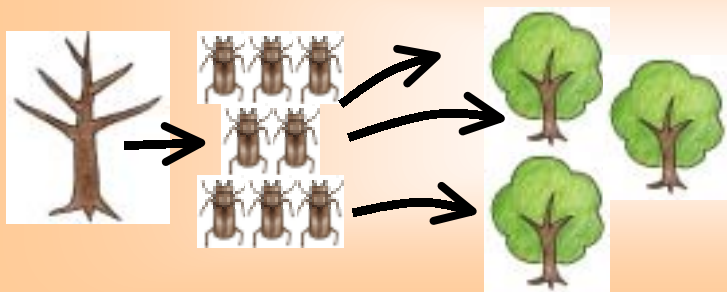
病原菌と成虫の増殖



幼虫

翌年6～7月

新たな健全木へのアタック



翌年（2年目）は、1年目の枯れ木を中心に10本前後の健全木へ集団的に被害が広がります。3年目は林の半数ほどでも集団被害が発生します。

このような木を見ましたら、以下へ御連絡ください。

* 最寄りの農林事務所森林整備課

* 静岡県林業技術センター TEL (053)583-3121

発行日：平成18年3月1日

編集：静岡県林業技術センター

発行：静岡県林業技術センター振興協議会

発行元は解散しました

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6（静岡県森林組合連合会内）TEL (054)253-0195

FAX (054)253-2328